



ワオキツネザル
撮影：近藤 良太様（宇部市）

- 事業所を紹介
- トピックス

- 環境安全部だより
- 社員登場
- クラブ紹介
- 社会貢献



発行：
〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96
宇部興産株式会社 宇部渉外部
(電話 0836-31-2111)

「翼」は地域にお住まいのみなさまにUBEグループをより身近に感じていただくために発行しています。

事業所を紹介

宇部興産株式会社 沖の山コールセンター



沖の山コールセンターは、オーストラリアやインドネシアなどから高品質な石炭を輸入・保管し、日本国内のお客様に販売するエネルギー備蓄基地の役割を担っています。
宇部興産は、瀬戸内海西端という立地メリットを最大限に生かし、100年余の石炭事業で培った経験と最新の技術を追い求める精神でお客様のご要望にお応えします。

沖の山コールセンターで活躍する大型機械たち



【ビッグなパワーショベル!】

ショベルとベルトコンベアが合体したようなリクレーマー。直径5.6mもある風車みたいなショベルで石炭をかきだし、コンベア上に降ろします。見た目よりも素早く動くのでびっくりしますよ。

沖の山コールセンターでは、280万トンという貯炭能力に合わせ、日本では見慣れない大型機械や設備が活躍しています。ここでは、その中でも特にスケールの大きな機械たちを紹介いたします。



【巨大運搬船で搬入】

パナマックスと呼ばれる大型運搬船を使い、海外から一度に9万トン近くの石炭を運んできます。



近くで見ると、やっぱりデカイ!

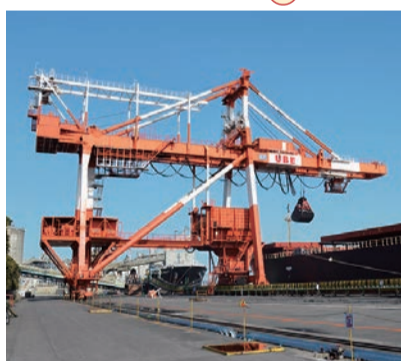
(長さ：90m、高さ：26m)

【でっかいクレーンゲーム?】

大きな船から石炭を降ろすのは大変な作業です。ここでは、ひとつかみ25トンという超大型のバケットを持つアンローダーが活躍しています。幅：40m、高さ：44mもある巨大クレーンが、まるでクレーンゲームのように石炭を降ろします。

【小型運搬船でお客様のもとへ】

お客様の需要にきめ細かく対応するため、国内では2~3千トンクラスの運搬船を使います。運搬船への積み込みには、シッローダーという専用機械を使います。船の中に隙間無く石炭を詰め込み、スペースを有効に使います。



ココ!

沖の山コールセンター

沖の山の埋立地に立地し、貯炭能力280万トン、年間取扱い能力730万トンを誇る国内最大級の石炭備蓄保管基地。

1980年に営業開始し、瀬戸内海沿岸を中心に多くのお客様に石炭を販売している。



宇部興産の越智です。カメラマンに指示されるがまま比較対照として写真に入ってます。スケールのデカさに圧倒されて撮影中は笑いが止まりませんでした(笑)

1980年の開業以来、多くの石炭を取り扱ってきた経験を生かし外国企業等への技術指導も行っています。

TOPICS

トピックス

● 定期点検 / 定期休転の予定

宇部セメント工場...
2018年11月18日~12月6日

● クイズ

Q: 沖の山の埋立地に立地し、貯炭能力280万t、石炭年間取扱い能力730万tを誇る国内最大級の石炭備蓄保管基地はどこでしょうか?

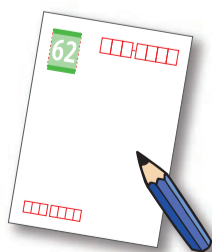
(ヒント: 沖の山○○○○○○○○○○
【電話対応窓口ではありません。】)

正解された方の中から抽選で10名様に粗品を進呈します。

締切: 2018年10月17日(水)

★ご意見・ご応募(「写真」「クイズ」):
葉書またはHPをご利用下さい。

宛先: 宇部興産株式会社
宇部渉外部(「翼」編集室)
〒755-8633
宇部市大字小串1978-96



● 中途採用募集について

詳細は、宇部興産株式会社ホームページの「採用情報」をご覧ください。
(なお、求人は充足次第終了いたします。)

